

山谷内閣府特命担当大臣記者会見録(確定版)  
(平成27年6月22日(月) 10:27~10:32  
於)中央合同庁舎第8号館5階共用会議室B)

1. 発言要旨

おはようございます。

私からは積極発言ございませんけれども、もし皆様から何かあればと思います。

2. 質疑応答

(問) NHKの霜越と申します。よろしく申し上げます。

明日、横田御夫妻が要請書を渡すためにお越しになると思いますが、大臣、どのように対応される予定でしょうか。お願いいたします。

(答) 明日、横田御夫妻が、御夫妻の支援団体であります「あさがおの会(横田めぐみさんご家族支援の会)」の方と、皆様と御一緒に、政府に対して改めて、拉致問題の早期かつ確実な解決に向けて、要請ということでお越しになられると聞いております。私といたしましては、その御要望の内容について真摯にお伺いするとともに、めぐみさんとの再会を切なる思いでお待ちになっておられます横田御夫妻、そしてまた、全ての拉致被害者全員の安全確保と帰国に向けて、あらゆる手段を尽くしてまいりたいと考えております。

(問) 朝日新聞の久木です。

拉致の関連で、自民党の拉致問題対策本部で制裁強化を検討していたPTが今週の25日に総理に提言書を手渡すということですが、来週には調査期限のめどとされる1年を迎えるわけですが、政府としての制裁強化のあり方等についても含めて、お願いできますでしょうか。

(答) 期限のめどがいつかということとはともかく、一日も早い誠実かつ正直な報告を私どもは求めているところでありますし、また、拉致問題の解決のために何が最も効果的の必要かということ、政府としては不断に見直しをしているところでございます。

党としましては、様々な方々から御意見を聞きながら、議論を重ねていると聞いておりますので、また、その党の考え方をお聞きしたいと考えております。

(問) NHKの霜越と申します。

すみません、今月中にソウルに北朝鮮を監視するためのフォローアップ拠点を設けると伺っていますが、いつごろ開設されるかというのと、政府として、この拠点、どう生かしていくのかをお願いいたします。

(答) 国連に、北朝鮮の人権問題、また拉致問題の調査、そして解決を求めるための委員会が立ち上げられて、400ページにわたる報告書

が出たわけでございます。そうしたことのフォローアップということで、ソウルに6月中にと聞いておりますが、セキュリティの観点から、現時点では国連人権高等弁務官事務所（OHCHR）から、時期についての具体的な言及は控えたいということですので、今日この場では申し上げることは控えさせていただきたいと思いますが、いずれにしましても、フォローアップのための拠点が作られるということで、北朝鮮の人権問題、拉致問題の解決に資する拠点となると考えております。拉致問題を含む北朝鮮の人権侵害問題に関する証拠資料の収集のほか、広報や啓発を行うこと等々、着実に進めながら、解決に向けて、国連、国際社会と連携を強めていきたいと、いけるとも思っています。

（以 上）